

「令和7年度企業ネットワーク構築支援事業」の企画提案競技に関する質問及び回答

番号	質問の対象となる資料とその項目	質問内容	回答
1	【資料1】 仕様書第3（1） 経営者・マネジメント層向け研修会	テーマ例に、「第3回目：自社で進める経営計画の策定、経営計画（行動変革宣言）の報告」とあります。策定・報告といったアウトプットに対して、貴庁のご希望やイメージ（HP上で掲載予定がある、集合して写真撮影をする等）がありましたら、ご教示ください。	経営・人材育成に関する各社の課題に対し、どのような計画を策定し、どのように実行したか（していくか）について、ホームページ上で紹介することを想定しています。個別企業の具体例を詳細に掲載する手法ではなく、参加企業の課題を分類分けして、各課題に対する解決策を例示し、当該事業に参加していない企業も参考にできる内容で掲載したいと考えています。 なお、記録として各回の研修会の様子と各地域の最終回の参加者の集合写真を撮影することとしますが、ホームページへは、研修会の様子のみを掲載する（予定）こととします。
2	【資料1】 仕様書第3（2） 女性社員向け研修会	内容を企画するにあたって、参加対象者に想定される属性をご教示ください。または、これまでの「ダイバーシティマイスター企業等」から参加された女性社員の属性を教えてください。（例：管理職と非管理職の割合、年齢構成、共通課題）	各企業によって状況が異なるため、個別具体の役職や年齢層は指定しませんが、今後、チームや課・室の長として、社員または業務をマネジメントする立場への配置が想定される（希望する）女性社員を想定しています。 また、現在、上記の立場にあり、更なるスキルアップを目指す社員が参加することも想定しています。 管理職などの管理的立場、意思決定層への女性の登用が遅れている背景には、女性自身が消極的（自信が無い等）であるという課題も挙げられていることから、女性自身がスキルアップすることで、キャリア形成への後押しとなるよう機会の提供をするものです。 また、自社だけでは女性社員の育成が難しい企業に積極的に参加いただきたいと考えております。 女性社員向けに実施した過去の県事業への参加者は、下記のとおりです。 【年齢】20～40代 【役職】管理職以下 （女性社員を対象とした過年度事業では、詳細の役職を把握しておりません） 【共通課題】 管理職の責任の重さ、労働時間の増加等が予想されるため、家庭との両立の観点で負担が大きい。 身近にロールモデルがいらないため、自身のキャリアについてイメージができていない。

「令和7年度企業ネットワーク構築支援事業」の企画提案競技に関する質問及び回答

番号	質問の対象となる資料とその項目	質問内容	回答
3	【資料1】 仕様書第3（3） キックオフ会議	「好事例取組」として選定予定の企業様について、選定基準を可能な範囲でご教示ください。企画作成前に貴県のご状況や目指す姿を理解しておくために、参考にさせていただきます。	男性の育児休業取得や長時間労働の是正などの働き方改革によるワークライフバランスの実現やそれに伴う生産性向上の取組の観点で選定します。 女性も自身が希望する働き方を実現するためには、男女ともに固定的な性別役割分担意識を払拭するとともに、男性が育児休業を取得しやすい環境づくりや男性の家事・育児への積極的な参画が不可欠であるという考えのもと、県内企業が具体的に取組を進めていくための参考となる講師を選定予定です。
4	【資料1】 仕様書第3（1） 経営者・マネジメント層向け研修会及び（2）女性社員向け研修会	経営者・マネジメント層向けならびに女性社員向け研修会について、定員は1回あたり約30名とさせていただいてよろしいでしょうか。演習の効果を最大化するため、定員を設定させていただいております。	基本的には、経営者・マネジメント層と女性社員の両方が当該事業に参加できる企業を募集するものとします。 <u>各対象の1地区1回あたり</u> の参加社は次のとおりの規模感を想定しております。 【経営者・マネジメント層向け】 (1)10社程度（※女性社員と同企業） 【女性社員向け】 (1)10社程度（※経営者等と同企業） (2)ダイバーシティマイスター企業等 複数社 (1)及び(2)は、同一企業から複数名の参加を可能とする。
5	【資料1】 仕様書第3（3） キックオフ会議	ウ オリエンテーション、顔合わせについて詳細を教えてください。オンラインの開催ですが、誰と誰が顔合わせをするのでしょうか。またオリエンテーションのイメージ(実施例)がありましたらご教示ください	キックオフ会議への参加者に対して、その後実施する研修会の概要を伝えるためのオリエンテーションで、同会議の参加者を研修会に誘導するための意図です。研修会の参加者募集は、同会議終了後も継続して実施する想定であるため、オリエンテーションで研修会のプログラム等を説明することで、効果的に研修会への参加を促すために実施します。

「令和7年度企業ネットワーク構築支援事業」の企画提案競技に関する質問及び回答

番号	質問の対象となる資料とその項目	質問内容	回答
6	【資料1】 仕様書第3（3） キックオフ会議	5月下旬(予定)に委託事業者決定後、6月25日（水）のキックオフ迄に約1ヶ月しかなく、この間で①カリキュラムの決定②チラシ等ビジュアルの制作③参加企業の募集～選定④キックオフ会議視聴者の募集 をする、と理解しました。非常にタイトと解釈しておりますが、「キックオフ会議の開催日程をずらす」、あるいは「キックオフ会議後に各研修会の参加企業を募集～選定する」などの提案は可能でしょうか。	好事例取組の紹介については、仕様書3（3）の①のイ「県が指定する企業を講師として招聘すること」としたいため、前者（キックオフ会議の開催日程をずらす）は不可とさせていただきます。 また、質問にあります③及び④は同時並行で実施していくとともに、受託者が決定するまでの間は、県も当該事業の周知を展開していきますので、受託者決定後は、受託者が主体で周知や参加者募集を実施していくものとします。